

世界に平和を・戦争の基地はいらない

横田基地ミニ情報 2020.6.15 No.382 東京・羽村平和委員会発行



発がん性がある有機フッ素化合物 環境省初の全国調査 171地点中37地点で国基準超え 東京は10地点基準超え

環境省は6月11日、全国の171地点の地下水や河川などの有機フッ素化合物（ピーフォス+ピーフォア）の含有量を調査した結果を公表しました。

1都2府10県の37地点で国の暫定目標値（1リットル当たり50ナグラム）を超え、最大で目標値の3.7倍に達していました。在日米軍基地や工業地帯の周辺の地下水・湧水・河川等が広く汚染されている実態が明らかになりました。

東京都のワースト3は、調布市、立川市、府中市ですが、調査した地下水10地点がすべて目標値以上でした。深刻です。

環境省2019年度PFOS及びPFOA全国存在状況把握調査結果より
全国ワースト10。PFOS+PFOAの合計と目標値との比較。

1	大阪府	摂津市	地下水	1855.6	37倍
2	沖縄県	沖縄市	河川	1508.1	30倍
3	沖縄県	宜野湾市	湧水	1303.0	26倍
4	沖縄県	中頭郡	湧水	1188.0	24倍
5	沖縄県	宜野湾市	湧水	815.3	16倍
6	東京都	調布市	地下水	556.0	11倍
7	沖縄県	沖縄市	河川	475.0	9倍
8	千葉県	白井市	河川	349.2	7倍
9	東京都	立川市	地下水	337.2	7倍
10	東京都	府中市	地下水	301.8	6倍



この全国調査は初めてです。これまで沖縄県では米軍基地から発がん性が指摘されている有機フッ素化合物を含有する泡消火剤が基地外に大量に漏出していました。京都大学などの調査で人体からも検出され、沖縄県の玉城デニー知事は、政府に有機フッ素化合物の目標値を定めることや基地内への立ち入り調査を求めてきました。そうした経過もあり、今年、日本でも有機フッ素化合物の暫定目標値が決められ、調査が実施されたということです。

今年1月6日、朝日新聞の報道で、横田基地近くの井戸から高濃度の有害物質が検出されたことが明らかになりました。実は高濃度汚染はこれまでもあったのですが、日本には基準が無いため、都民には知らされず、かなり、野放し状態だったのです。今回の調査がスタートです。



左の写真は、横田基地内にある米軍の消火訓練用の機体。これに燃料をかけて燃やし、泡消火剤で消す訓練が長い年月行われて来ました。

そのため、この近くの井戸から、高濃度の汚染（立川市の井戸1340ナグラム/リットル、武蔵村山市の井戸143ナグラム/リットル）が検出されたのです。

宇都宮けんじさんとともに 都政を変えよう
平和的生存権を守ろう

河野防衛相が、「米軍の低空飛行であれば辞めさせる」

河野防衛相は、12日の記者会見で、後志管内倶知安町の上空で10日に米軍のC130輸送機とみられるプロペラ機3機が低空飛行していた問題について「事実関係を把握していないが、低空飛行が行われているのであればやめさせなければならぬ」と述べました。

この低空飛行については、11日の北海道新聞電子版に載っていました（写真右）。

横田基地所属の輸送機にていますね。これまでも、四国地方や奄美市でも低空飛行が目撃されていました。

米軍機？3機低空飛行 倶知安町民「昨年より低い」

06/11 05:00



倶知安町榊山上空を飛行するプロペラ機（町民提供）

【倶知安】10日午後8時ごろ、後志管内倶知安町の上空を3機のプロペラ機が低空飛行しているのを、複数の住民が目撃した。撮影された写真を見た専門家は機体の特徴などから米軍の輸送機C130とみている。

羊蹄山麓では昨年6月7日、米軍三沢基地（青森県）の複数のジェット機が低空飛行し、同管内蘭越町で蘭越小の児童が一時遊覧。町が北海道防衛局を通じて米軍に再発防止を要請していた。

米軍基地ごとの感染状況

米軍の新型コロナウイルス感染をめぐり、米国防務省が3月末に基地ごとの感染状況を非公表とする方針を決めたことを受け、在日米軍は国内の米軍基地での感染者数を非公表としています。ところが、在韓米軍は4月以降も逐一、基地ごとの感染状況を公表しています。4月以降、公表している感染情報は18件におよび、兵士だけでなく軍属や家族、請負業者にいたるまで公表されています。

最新の情報は、米国防務省のチャーター便で5月30日、オサン空軍基地に着任した米兵の感染が確認された。彼はキャンブ・ハンフリーの隔離棟に隔離された。国内の米軍基地でも、感染者の属性や基を断片的に感染状況を明らかにしていません。韓国の事例を見ても、政府が米軍に対する屈從的な姿勢を改めれば、感染状況の公開は可能なはず。

韓国では逐一公表

日本でも公開は可能

東京 2020.6.8

このため、米軍基地を抱える15都道府県でつくる渉外知事会は5月27日、新型コロナウイルスの感染状況を米側の感染対策を公表するよう求める緊急要請を外務省、防衛省に対して行いましたが、政府は応じていません。コロナ感染に関する米軍の検査実績も報告を受けていますが、公表を拒んでいます。

横田基地第21

特殊作戦部隊

6月10日、
第1大隊第6海兵隊と
富士バイパー参加



新型コロナウイルス

感染者が横田基地にいるのに

公表しないのはおかしい

日本でも公開は可能なはず

日本は対米従属改めよ!



CV-22B オスプレイ